謹賀新年

ときわだより 第32号(令和7年1月号)

新年のご挨拶

ときわ病院　院長　炭谷　信行

皆様、あけましておめでとうございます。昨年は震災や水害など辛い出来事が続いた１年になりましたが、そんな中で明るいニュースもありました。ドジャーズの大谷翔平選手は肘の負傷や信頼していた通訳の事件があった時でも驚異的な集中力で最大限のパフォーマンスを発揮し、チームの優勝に貢献しました。そして１シーズン中に５０本塁打５０盗塁という偉業を成し遂げた史上初の選手となりました。彼の活躍は、沈んだ気持ちに感動や希望を与えてくれたと思います。

大谷選手や将棋で活躍している藤井聡太棋士は一日１０時間以上の睡眠をとり、寝ている時間もトレーニングの一環としてフル活用していると聞きます。真似をしたくてもなかなか出来る事ではありませんが、偉業を成し遂げた方々から学ぶことは多いと思います。私事ではありますが、昨年は彼等の勝利への集中力や、思考の素晴らしさに感銘した１年でもありました。

さて、ここ２０～３０年の間に精神科医療は進歩を遂げ、新薬が次々と開発されています。当院でも新薬を採用したことで、退院し外来通院できるようになった患者さんも増えて来ました。しかし、まだまだ薬の効果には限界があり、再び入院管理が必要になるケースも少なくありません。昔から精神科治療の目標は、軽快・寛解し、社会で生活できる状態になる事です。入院中の患者さんは、軽快・寛解した後どうやって地域に帰すか、退院後はどう支えていくかが重要になります。法律や精神保健福祉の制度が変わっても、当院の理念である「明るく開かれた精神科医療を目指し、人権擁護の精神を尊重し、社会福祉法人としての伝統と人間愛をもって運営します」という姿勢は変わりません。引き続き理念に基づいた治療・支援を続けて頂ければと思っています。

今年も一年、良い年でありますように祈りまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

ときわ病院理念

明るく開かれた精神科医療をめざし、「人権擁護の精神」を尊重し、
社会福祉法人としての伝統と人間愛の精神をもって運営します。

〒921-8834　野々市市中林4丁目123番地
TEL (076)-248-5221 (代表)